



小6から高1相当の女子に!

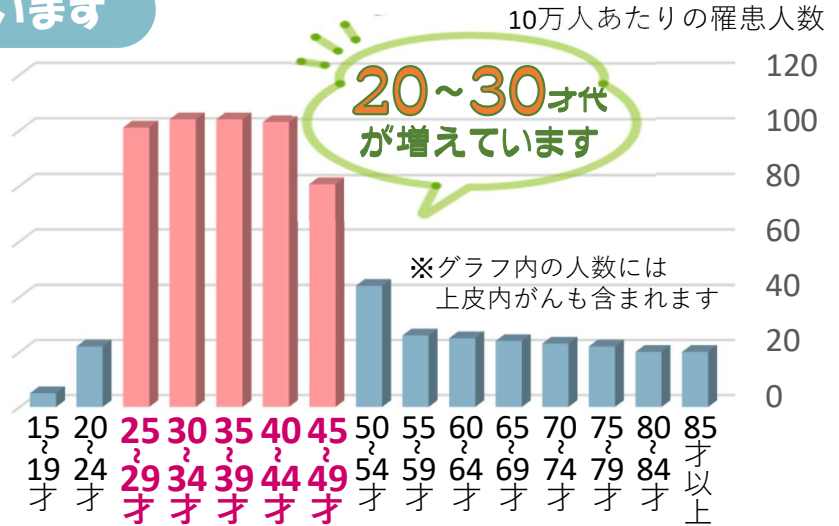
# あなたをがんから守るワクチンがあります!

(1997~2005年度生まれの女性も今年4月から3年間は特例で無料です)



## 若い女性に子宮頸がんが増えています

- 毎年約1万人がこのがんにかかり約3000人が亡くなり、約1000人が妊娠できなくなります。
- この原因の**95%以上がHPV**(ヒトパピローマウイルス)です。
- **8割以上の人**が一度は感染するありふれたウイルスで、自然に排除されることが多いですが、子宮の入り口に感染するとがんになることがあります。
- 女性では乳がんの次に多いがんです。



## ワクチンのメリット・デメリット

- 17歳までにワクチンを3回打つとがんを**70%~90%予防**できます。



- 副反応として接種直後の失神・ふらつき、注射部位の痛み・腫れがみられることがある。



## がんにならないためにできること

- 1 今から**ワクチン**を打つこと
- 2 **ワクチン**を打っても**20歳**になったら**検診**を受けること



## ワクチンの安全性

広い範囲で痛みや体が動かしにくくなる場合(複合性局所疼痛症候群)がありますが、ワクチン接種をしていない人でも認められ、**ワクチンとの因果関係は不明**です。

世界保健機関(WHO)はワクチンの有効性・安全性を認めており、日本でも**副反応が特別に起こりやすいわけではない**ことが認められています。

## ワクチンを良く知って接種しましょう

- 小学6年生~高校1年生の女子(1997~2005年度生まれも3年間)は無料です。
- 接種の意義を本人・保護者ともご理解いただく事が大切です。かかりつけ医とよく相談の上、接種されることをお勧めします。
- 重い症状がでた場合の医療体制も整っています。(自治医大・埼玉医大)

